

# 平成30年 豪雪の記録

## 今回の大雪に際して町民のみなさまへ

2月4日からの降雪により、11日には、越前町で126センチの積雪を観測し、「五六豪雪」以来37年ぶりの記録的な大雪に見舞われ、町内では、道路除雪が追いつかず、町民生活に多大な影響が出ました。

町では、2月6日午前9時に雪害対策本部を設置し、除雪作業の強化や被害の防止に努めて参りましたが、中学校の休校やコミュニティバスの運休、各施設の休館、ごみ収集の中止などを余儀なくされました。

この間、町民のみなさまには、大変ご心配、ご不便をおかけいたしましたことに対し、深くお詫び申し上げます。また、屋根の雪下ろしなどで、お怪我をされたり、倉庫や農業用ハウスの倒壊などで被災された町民のみなさまには、心からお見舞い申し上げます。

そして、今回町内各所で除雪作業に従事していただきました除雪業者のみなさまには、昼夜を問わず不眠不休で道路などの除雪にあたっていただき、頭の下がる思いでございます。お陰さまで、町民のライフラインが早期のうちに確保され、町民生活も日常を取り戻したことは、ひとえに

係各位のご苦勞の賜物と心から感謝申し上げます。

そのほか、ボランティアのみなさまや消防団、区民のみなさまによる一人暮らしの高齢者宅の除雪など数々のご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

町といたしましては、今回の雪害の状況を把握し、被災された町民のみなさまへの支援の可能性を探って参りたいと考えております。

今回の大雪により露見しました除雪機械とオペレーターの不足や燃料の確保、一人暮らしの高齢者など生活弱者への対応や屋根の雪下ろし、空き家問題など十分に検証し、今後の対策に役立てたいと考えておりますのでご理解を賜りますようお願いいたします。

このたび被災されました町民のみなさまには、早期の復旧、お体のご回復を心からお祈りいたします。

季節柄、まだまだ寒い日が続きますので、お疲れなど出ませんようお体に十分ご留意いただき、お過ごしいただきますようお願いいたします。

越前町長 内藤俊三

## 極寒の大雪の中でも 心あたたまる町民のみなさまの活動

今回の大雪では、中高校生のボランティアのみなさんによる一人暮らしの高齢者宅の玄関前の除雪が行われました。

このボランティアは、越前町福祉協議会のボランティアセンターを通じて募集、登録いただいているみなさんで、休校日を利用して、一生懸命に活動していました。



▲中高校生ボランティアのみなさん

大雪の中、困っている中でもお互いに助けあう心あたたまる活動ができる町民のみなさんこそ、町民指標の一つ「親切で、安心して住める町」の体現であったと言えます。



▲公民館の屋根雪下ろし（氣比庄区）



▲陽光館前の雪かき（朝日中女子ホッケー部）



▲越前消防団朝日地区第3分団が防火水槽を除雪して安全を確保



▲除雪車は連日フル稼働しました



▲すっぽりと雪で覆われた施設（悠久ロマンの杜）

### 雪害対策本部からご報告

#### ■最深積雪

126センチメートル

#### ■今回の大雪による被害（2月20日現在）

人的被害（屋根雪下ろし作業による）3件（重傷2件、軽傷1件）

物的被害（倉庫、農業用ハウスなど）41棟（全壊27棟、半壊10棟、一部損壊4棟）

#### その他

2月6日から14日にかけてコミュニティバスが全便運休。町の施設も14日までの間に、臨時閉館や開館時間の繰り上げなどの影響がありました。

#### ■雪害対策本部の活動

雪害対策本部は、内藤町長を本部長として、2月6日午前9時に設置。役場職員が24時間体制の待機と昼夜のパトロールを行い、所属を越えた連携で被害状況の報告と対応策の協議を行いました。



▲雪害対策本部の様子

### あたたかいご支援をいただきました

2月16日、鯖江精機(株)様から、町に対して多額のご寄附をいただきました。町からは、ご支援に対し、内藤町長から感謝状を贈呈させていただきました。いただいたご寄附は、今回の除雪費用に充てさせていただきます。

### 大雪の被害に対する 支援金窓口

今回の大雪で、県内の各市町では様々な被害が発生し、越前町を含む9市町が、災害救助法の適用を受けました。

町では、この度の大雪に対し、災害支援金の受付窓口を設置し、県でもふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」内に、県と各市町を併せた共同受付窓口を開設しています。いただいた支援金は、除雪対策や被災者支援などに活用されます。



▲▼県の共同受付窓口（画像は、2月20日現在）



▲町の支援金受付窓口

問合せ先 総務課 ☎34-8700